Appendix: Prediction interval

川田恵介

2025-06-18

1 Predictive interval: get started

1.1 予測問題まとめ

- ・ 本講義の対象: 関心となる母集団からランダムサンプリングされているデータ $\{X,Y\}$ から、母集団におけるYの平均事情誤差を最小化する予測モデル g(X) を推定する
 - ▶ 本講義の推奨: 複数のアルゴリズムから生成された予測値の集計 (Stacking)を使用

1.2 おすすめ学習法

- "使いたい内容"の利点/欠点/射程を理解するために、"少し発展的"な論点まで学ぶ
 - 本スライドでは、Conformal prediction (Angelopoulos and Bates, 2021; Angelopoulos, Barber and Bates, 2024) を紹介
 - Hot issue 実務での活用も有望?
 - "個人効果の推論"にも応用される (Lei and Candès, 2021)

1.3 Residual score 法

- 1. データをランダムに 2 分割 (Training/Test)
- 2. Training データを用いて、予測モデル g(X) を推定
- 3. Test データを用いて、予測誤差の絶対値 |y-g(x)| を計算
- 4. q = |y g(x)| の上位 α %、を計算
- 5. Prediction interval [g(X) q, g(X) + q] を算出
- $1-\alpha\%$ の確率で当たる"予測範囲" (Prediction interval)

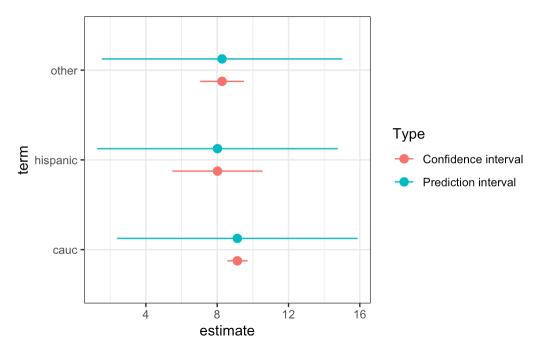
1.4 実例

- 賃金 を、ethnicity のみから予測するモデルを推定
 - 事例数は十分であるので、母平均 E[Wage | ethnicity] ~ データ上の平均
 - Confidence interval も容易に計算できる

▶ Residual score 法も容易に実装可能

1.5 実例: Prediction interval

1.6 実例: Confidence VS Prediction interval



1.7 練習問題

• なぜ Confidence interval と Prediction interval は、大きく異なるのか?

▶ ヒント: 捉えている不確実性が異なる

2 予測誤差 VS 推定誤差

2.1 予測モデルの推定

• 平均二乗誤差で予測性能を測定するのであれば、最善の予測モデルは母平均 $E[Y\mid X]$

•
$$\underbrace{Y-g(X)}_{\text{ 予測誤差}} = \underbrace{Y-E[Y\mid X]}_{Irreducible\ error} + \underbrace{E[Y\mid X]-g(X)}_{Estimation\ error}$$

- "最善の"予測モデルの推定においては、Irreducible な部分は無視できる (せざる得ない)
 - ▶ 伝統的な計量経済学の教科書で紹介される"母平均の推定問題"に落としこめる

2.2 統計的推論

- ・ Confidence interval: 母平均 $E[Y \mid X]$ を、概ね含む区間
 - ▶ Estimation error を評価
 - ▶ 少なくとも母平均のシンプルな要約については、方法が確立されている
- Prediction interval: 予測対象 Y を、概ね含む区間
 - ▶ Irreducible error も含めて評価する必要がある

2.3 平均的な予測誤差の限界

• 予測モデル の性能評価法として、テストデータにおける平均二乗誤差:

$$(Y - g_Y(X))^2$$
のテストデータにおける平均

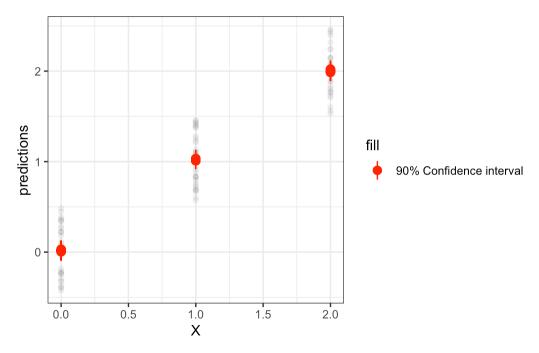
を紹介

- あくまでモデルの「平均的な予測性能」の評価
 - ▶「平均二乗誤差がほぼ"0"であれば \rightarrow 「ほぼ当たる予測」
 - それ以外の場合はよくわからない

2.4 数值例

- $E[Y \mid X] = X$
 - $Y E[Y \mid X] \sim Uniform(-0.5, 0.5)$
 - $X = \{0, 1, 2\}$

2.5 数值例



- Irreducible error が大きく、予測誤差は大きい
 - ▶ 90 % 以上の事例が、信頼区間の外部に存在

2.6 目標

- Y の母分布の一定割合 (例えば90%) を含む区間を計算したい
 - 多様な計算方法が提案
 - Residual score 法はその一つ
 - 他には Quantile regression を活用した方法など (Angelopoulos, Barber and Bates, 2024)

2.7 練習問題

- ランダムサンプリングデータであれば、事例数が無限大のデータで算出した Confidence interval の幅は 0
 - Prediction interval は?
 - なぜ?

2.8 Reference

Bibliography

Angelopoulos, A.N. and Bates, S. (2021) "A gentle introduction to conformal prediction and distribution-free uncertainty quantification," arXiv preprint arXiv:2107.07511 [Preprint].

Angelopoulos, A.N., Barber, R.F. and Bates, S. (2024) Theoretical Foundations of Conformal Prediction. Available at: https://arxiv.org/abs/2411.11824.

Lei, L. and Candès, E.J. (2021) "Conformal inference of counterfactuals and individual treatment effects," Journal of the Royal Statistical Society Series B: Statistical Methodology, 83(5), pp. 911–938.